



ロータリーはステージ・
みんなが輝く!

SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2025.5.28(No.3244)
週報 No.39

第2560地区ガバナー／南雲博文
会 長／渡辺良一
会長エレクト／柳取崇之(クラブ奉仕A)
副 会 長／西山徳芳
幹 事／船越良則
S A A／落合孝夫
会 計／小林吾郎
直前会長／吉井直樹
会長ノミニー／小林吾郎(クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:56名中33名
■先々週出席率:85.45%

【ゲスト】

・(株)相場紙器製作所
代表取締役 相場 浩 様

【ビジター】

・三條北RC幹事 齋藤孝之輔さん

【先週のメイクアップ】

[5.22] 巻RCへ

・杉山幸英さん、松永隆夫さん

[5.22] 三條東RCへ

・小越憲泰さん、丸山行彦さん、
中村友昭さん、荻根澤隆雄さん、
中村和彦さん、中林順一さん、
高橋俊樹さん

[5.22] 加茂RCへ

・齋藤弘文さん

[5.24] 佐渡南RC創立50周年記念式典へ

・渡辺良一さん、船越良則さん

[5.26] 南雲年度第3回ビギナーラーニング
準備会議(オンライン)へ

・関川 博さん



2024～2025 年度国際ロータリーのテーマ



「弥彦を包む夕焼けの余韻」

会長挨拶



渡辺良一 会長

皆さんこんにちは。ご挨拶いたします。

5月24日、船越幹事と私とで佐渡南RCの創立50周年式典に参加してきました。南雲ガバナー、花角県知事もご臨席され、とても賑やかなパーティーでした。

本日の話題をお話いたします。

今日も大切な先輩ロータリアンと私との思い出をお話いたします。

その方とは、はじめあまり接触が無く、殆どお話をすることがありませんでした。お話をすることが増えたのはゴルフを通じてでした。私が長年ゴルフ同好会の幹事をしていて関係で徐々にお話をすることが多くなりました。

そして、一気にお話をすることが多くなったのは川瀬ガバナー年度・地区大会記念ゴルフ大会の準備を共にするようになってからでした。ある時、打ち合わせでチャリティーするワンオンチャレンジの景品をめぐり我々は「成功したらゴルフボールをプレゼントしよう」と話していると、その方は「自分が使い慣れたボール以外欲しくないだろう。なあ、渡辺さん」と私に振ってきたので。「いえ、欲しいです!」と答えたところ「じゃ、お前なんかロストボールでしてろ!!」と笑顔

でお叱りを受けました。

その後「じゃ、飲料メーカーからサービスで飲み物をもらいワンオンに成功したら渡そう」と私が提案したら「ロータリアンたるもの、物を欲しがらな、チャリティーなんだから寄付をして終わり!」とたしなめられました。

大会当日、写真係だった私が女子プロと担当ホールに向かおうとしていたところ見送りをしていただき「渡辺さん、よく見とけ! 5打縮まるから!」と送り出してくれました。

その後、学校が同門であることが分かるなど親しくお話をすることが多くなりました。その方の事を、私は勝手に“伝説のゴルファー”と呼んでいました。ゴルフを決してかけ事に使わない。すべての事にプライドの高さを感じました。

まさに“孤高のロータリアン”でした。

加藤紋次郎さん、6月16日が御命日です。

忘れてはいけない尊敬するロータリアンのお話をいたしました。

そして、忘れてはいけない大切な先輩ロータリアンと私との思い出のお話しはこれで最後になります。

皆様も機会がありましたら、若手のメンバーにお話して頂きたいと思います。

幹事報告



船越良則 幹事

◎地区事務所より

「ミャンマー大地震における支援金のお願い」

◎次年度第4分区 青柳ガバナー補佐より

「第4分区会長・幹事会のご案内」

日 時 6月10日(火) 18:00～

会 場 宮町食堂(燕市)

◎地区事務所より

「2025-26年度 インターアクト年次大会のご案内」

日 程 7月12日(土)～13日(日)

会 場 長岡グランドホテル、
米百俵プレイス ミライエ長岡

◎来週6月4日の例会より、クールビズになります。

ニコニコBOX

三条北RC幹事 齋藤孝之輔さん

本日は貴重な例会に参加させていただきありがとうございます。
ございます。どうぞよろしくお願いいたします。

渡辺良一 会長

佐渡南RC創立50周年に参加して来ました。とても楽しい式典でした。

相場浩様、卓話よろしくお願いいたします。

齋藤弘文さん

三条信用金庫、本店さんしん会の旅行を楽しんで来ました。近藤会長様、野崎会員、白倉理事長様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

荻根澤隆雄さん

先々週の三条祭り、大変良かったですね。関係者各位の方々、大変ご苦労様でした。

嘉瀬一洋さん

昭和43年申年生まれ、松葉幼稚園の同窓仲間として今日の卓話が楽しみでなりません。

相場さん卓話よろしくお願い致します。

渋谷政道さん

相場さん卓話ありがとうございます。

最近では加茂市でもご活躍され忙しいかと思いますが、これからも応援しております。

西山徳芳さん

相場浩様、三条祭りの神饌の夫婦鯛はさぞ重かったでしょう。卓話待ってました。

菊池 渉さん

「ニコニコBOX」とは、ニコニコすることなど無いと思っている人が1000円入れるために小さな小さな出来事を思い出す機会なのですね。

野崎喜一郎さん

25日、東京国立博物館に行って来ました。

NHKの大河ドラマ「べらぼう」の主人公、蔦屋重三郎の特別展が開催されていました。純日本的な題材なのに、外国人がとても大勢見学していたのに驚きました。

「べらぼう」が海外で放送されているのでしょうか?

翌日は新緑の「いろは坂」を通り抜けて日光東照宮、二荒山神社、鹿沼市の古峰神社をお参りました。これで今年は災難が降りかからないと信じています。

松永隆夫さん、 高橋俊樹さん、 船越良則さん、
松永一義さん、 落合孝夫さん、 小林卓哉さん、
明田川賢一さん、 白鳥 賢さん、 野水靖之さん、
高橋 司さん、 小越憲泰さん、 石倉政雄さん、
五十嵐晋三さん、 石橋育於さん、 柳取崇之さん、
安達俊明さん、 関川 博さん、 早川滝徳さん、
飯塚一樹さん、 山田富義さん、 杉山幸英さん、
丸山行彦さん

相場浩様、本日は卓話ありがとうございます。
お話し楽しみにしております。

5月28日分 ¥ 30,000
今年度累計 ¥ 1,226,000

6月のお祝い

◎会員誕生祝

2日 斎藤真澄 さん
6日 石橋育於 さん
12日 早川滝徳 さん
13日 清水泰生 さん
18日 渡辺良一 さん
21日 外山浩玲 さん



◎夫人誕生祝

16日 長谷川明美 さん (正実さん)
19日 安達葉子 さん (俊明さん)
21日 野水明子 さん (靖之さん)
28日 白鳥直子 さん (賢さん)

◎結婚記念祝

3日 歸山 肇 さん (敬さん)
11日 長谷川正実 さん (明美さん)
12日 野水靖之 さん (明子さん)
13日 渡部 宏 さん (千明さん)
21日 早川滝徳 さん (雅美さん)
25日 明田川賢一 さん (みゆきさん)
27日 相場弘介 さん (尚子さん)

卓話 「ガイドが紡ぐ燕三条まちあるき」



あるて
まちづかいコーディネーター
相場 浩 様

皆さん、こんにちは。

この度はまちあるきについてお時間をいただきありがとうございます。

私の本業は紙パッケージを作っており、よく言う箱屋ですが、副業として個人事業主として「あるて」という屋号でまちあるきをはじめ観光関連の活動もしております。

この屋号の「あるて」は、新しく何かを創り出さなくてもすでにあるものを目を向け、活用していくことを大切にしたいという想いです。

また「まちづかいコーディネーター」という肩書も付けています。肩書は分かりやすということが大切だと思っておりますが、あえて聞きなれないまちづかいという言葉を使っています。まちづかいて何ですか？と質問されることから話のきっかけになったり、私の大切にしたい想いを説明できたりすることができます。

そしてこのあるてやまちづかいといった言葉が私のまちあるき活動において大切にしている点ですので、ご説明をさせていただきながらまちあるきのご紹介をさせていただきます。

屋号の「あるて」や肩書につけたまちづかいという言葉が、私のまちあるきに対する想いですので、ご説明をさせていただきつつ、観光としてのまちあるきをご紹介させていただきます。

1. まちあるき活動の誕生

2008年 三条まちづかいの会が発足

まちづくりという言葉ではなく、まちづかいという言葉との初めて出会いました。「つくる」ではなく「つかう」という感覚は、すでに在るコトに気づき、それに光をあて、何かに活かしていくという姿勢です。

普段は何も気にすることの無いまちの景色やお店、昔から普通に身の回りにあったコトはそれを知らない人達にとって興味や好意の対象になるんです。

2009年 三条商工会議所青年部の活動として まちあるきを開催

まちづかいの具体的な活動としてまちあるき

を委員会活動として開催されたのが今からもう16年も前になります。今でも当時のWebメディアに掲載された記事をみることができます。

2.着地型観光としてのまちあるき

まちあるきのようなスタイルを着地型観光と呼びます。

あまり聞きなれない言葉かと思います。

観光という言葉は中国の古典、易経の中に出ています。「観国之光 利用賓于王」(国の光り観るに、もって王に賓たるに利用し)、と書かれています。

光という言葉が使われていることからその地域の輝いている事やすぐれている事を観ることが観光だと考えられることが多いようですが、当時の光りという言葉は文化や風俗、政治などを意味しているそうです。そこからこのフレーズの意味としては、他国の文化や風俗、統治などを学び取り、自国の発展に役立てるという意味合いになるそうです。

昔はマイクロバスを利用しての大人数の旅行やパッケージツアー等が一般的でした。観光客として地域に送り込まれるようなイメージです。それとは違い、地域の人達が主体となって企画、運営する形態を着地型観光と言います。

内容としてはその地域ならではの文化や歴史、食、産業、人との交流、体験などが中心となります。

名所旧跡を観て終わり、とは全く違った旅行内容です。



3.これまでに私がやったまちあるきコースの例

どのようなコースをつくるかも大切なのですが、そこで何を伝えるか、感じていただくかを大切にしています。今までに私がやってきたコースは下記のようなものです。

- a. 鍛冶町を巡るコース
- b. 三条マルシェでまちあるきブースを出店
- c. おしゃれマップをめぐるまちあるき
- d. 女子限定 可愛いお店をめぐるまちあるき
- e. まちやま周辺の朝散歩
- d. 燕三条駅周辺のまちあるき(クラブツーリズムさま)→勤務終了が11時間以上の休息
同じ時間に歩いてネタ探し、日陰探し
- e. 燕市南地域をめぐるまちあるき
- f. 三条商工会議所青年部さま
本寺小路界限のまちあるき
- g. 新潟県労働金庫シニアクラブさま向けまちあるき
- h. 三条出身者ではない若者向けまちあるき

私が生まれ育ったのが八幡町(当時は八幡小路とよびました)ですので近所の鍛冶町などを巡りながら説明をするコースを一番最初に開催しました。

歴史民俗産業資料館や鍛冶道場をスタートし、本町通り、五十嵐川と信濃川の合流点、鍛冶町、八幡様と巡りながら、地域の歴史や産業の成り立ちを説明したり、商店街のお店への立ち寄り店主さんからお話を伺ったりしていました。

また女性が参加しやすいように参加者を女性限定にし、かわいいお店や話題のお店などを巡るコースも企画したことがあります。

中には歩くコースとしてはほぼ同じでも、参加者の属性やニーズが全く違う時もあります。

このgとhはほぼ同じコースで町なかを歩いて合流点に行き、鍛冶町を歩いて八幡宮をとおりコースですが、年配の参加者の方々には昔のまちの姿を思い出していただいたり、ノスタルジーを感じていただくようにしています。また三条出身ではない若者の場合は、商店街のお店なども知らないことが多いので、今回はつるがやさんや大橋屋さんなど三条では有名なお店に寄って店主からお話を伺って自慢の一品を食べていただきました。

ストーリーとナラティブ(事実よりも視点を重視)→単なる知識ではなく自分も共感できたり、今の自分に落とし込めるような切り口。

- 金山神社は1925年（大正14）。弥彦線の燕から東三条開通、北三条駅も同年。
- 弊社おじいちゃんが昭和2年に創業。2年前の出来事なんです。
- 金比羅さんは水運の神様。いまでは分からない由来にも地域の意味や大切にしてきたことが垣間見れる。

4.まちあるきの視点

- その時に特別なことを提供する
- 地域の日常を体験、体感していただく
- お店や地域の人との交流を演出する
- 何をどう伝えるか → ストーリーとナラティブ
- “点と点の間にあるのが観光” → 俗にいう観光スポットからスポットではなく、その間にある地域のコトを感じていただく

最近の観光では地域の個別のコンテンツを羅列するのではなく、ストーリーを持たせたコースづくりが大切だと言われます。またその上で語り方としてはナラティブが重要とも言われます。どちらも物語という意味ですが、その違いを具体例でご説明いたします。

ストーリーの場合：1925年に弥彦線が燕駅から東三条駅へ延長となり北三条駅もできました。またこの年は八幡さまの境内に金山神社も創建されました。

ナラティブの場合：弊社は私のおじいちゃんが昭和2年に創業しました。その2年前の大正14年には八幡さまに金山神社が創建され、また弥彦線も燕駅から東三条まで延長し、このまちなかに北三条駅ができました。創業2年前のこの出来事はおじいちゃんに何かの影響を与えたんでしょうか。地域が発展していくエネルギーを感じたことは、創業への背中を押す出来事だったのかのかもしれません。

事実としての物語をストーリーとよび、そのストーリーをどのように語るか、語り手の視点や価値観なども交えた語り方をナラティブとよびます。

ストーリーだけであれば調べることもできますが、ナラティブというその時その場所で地域の人からしか聞けないことが、着地型観光ではとても重要です。

いまはこのようなまちあるきもやっておりますが、距離の離れた工場をめぐるファクトリーツアーなどもやるようになりました。移動の車中で地域の歴史や産業の成り立ちを話たり、訪

問先企業でのお話しの補足をするような添乗ガイドもやっています。

ちょっと宣伝になりますが、お得意様やお取引様を三条に招いたときに、もちろん皆さんでもできるでしょうが時間がなかったり、手間だった場合は、アテンドガイドのご用命も承っております。

その方々の好みや人数なども考えながらツアー内容を組み立てます。丸一日でも半日でもご希望にそった対応をいたします。

最後になりましたが、まちあるきはただまちを歩くだけでなく、地域に眠る物語を発見し、人と人を、人と地域をつなぐ活動です。同じコースでも伝え方によっていろいろな参加者それぞれに楽しさを提供し、参加者は自分ごととして地域に親しみ、地域は新たな魅力を発信できます。これからも、地元の魅力を皆さんと一緒に紡ぎ、地域の歴史や文化、暮らしを伝えていきたいと考えています。

— 家庭会合風景 —

●日 程 2025年5月28日 18:30～ ●会 場 越前屋ホテル



次 週 例 会 6 月 11 日

「一年を振り返って」
渡辺良一 会長、船越良則 幹事

次々週例会 6 月 18 日

夜例会「会長幹事慰労会」
18：30 ～ 於 二洲楼

